

課題の 2	トルコギキョウの育苗培土別栽培調査（新規）
-------	-----------------------

農業振興センターでは、これまでトルコギキョウの育苗時に、独自にブレンドした培土をプラグトレーに詰めて使用していたが、近年では定植時に培土が崩れにくく、植えいたみが少ない固化培土及び固化培土入りプラグトレーが普及し始めている。そこで、農業振興センターでブレンドしている培土から固化培土へ切り替えた場合、トルコギキョウの生育にどのような影響があるのかを調査し、今後の栽培普及の資料とする。

## 1 調査内容

### (1) 栽培環境：288 穴のプラグトレーを使用

調査区分	育苗培土
調査区	固化培土（ミヨシ：MM イージープラグ）
対照区	通常培土（システムソイル、バーミキュライト混合）

### (2) 供試品種

品 種	種苗メーカー	早晩性	花色・花形
おり姫 ver.2	サカタのタネ	中早生	ピンク覆輪・大輪一重
北斗星	サカタのタネ	中早生	紫覆輪・大輪一重
モアナピンク	ミヨシ	中生～中晩生	ピンク・中大輪八重
ジャスニーホワイト	ミヨシ	中晩生	純白・中輪八重

※早晩性及び花色・花形はメーカーカタログ記載内容

### (3) 調査項目：生育状況、採花期、切花品質

### (4) 耕種概要

- ①播 種：2月2日、2月16日（どちらも種子冷蔵処理無し）
- ②定 植：4月20日
- ③栽植様式：畝幅 150 cm（床幅 100 cm）、12 cm 8 目フラワーネット使用、6 条植、黒マルチ使用  
栽植本数 3,333 本/a
- ④施 肥 量：N：P：K=0.9：0.9：0.9kg/a  
※土壌分析結果を基に算出  
※青森県花き栽培の手引き N：P：K=各 0.5～1.0kg/a

## 2 調査結果

### (1) 生育状況

定植から 31 日経過した 5 月 21 日以降、2 週間おきに行った草丈及び節数の調査結果を、表 1、表 2 に示した。

7 月 30 日時点の草丈は調査区（固化培土）でモアナピンク、対照区（通常培土）でジャスニーホワイトが高く、おり姫 ver.2、北斗星では差がなかった。

節数は両区の差がほとんどなかった。

病害については、発生はなかったものの、梅雨時期の灰色かび病の発生を予防する

ために防除を行った。

虫害については、ヨトウムシによる葉の食害が散見されたため適宜薬剤散布を行ったことで、大きな被害には至らなかった。(薬剤散布状況は表 3 参照)

表 1 生育状況 (草丈)

(単位: cm)

品種	調査日	5/21	6/4	6/21	7/2	7/16	7/30
おり姫 ver.2	調査区	2.7	6.6	22.2	33.3	59.1	83.4
	対照区	3.7	8.8	25.3	38.0	63.3	83.6
北斗星	調査区	3.5	8.1	24.8	43.4	72.2	97.1
	対照区	3.8	9.1	29.7	44.5	72.3	96.7
モアナピンク	調査区	3.9	8.4	27.1	42.0	71.0	94.5
	対照区	3.6	8.4	26.2	41.3	68.8	90.1
ジャスニー ホワイト	調査区	2.3	4.3	13.9	21.1	41.2	66.7
	対照区	2.6	5.2	15.7	25.2	45.1	70.5

表 2 生育状況 (節数)

品種	調査日	5/21	6/4	6/21	7/2
おり姫 ver.2	調査区	3.3	4.1	7.8	10.1
	対照区	3.5	4.5	6.9	10.7
北斗星	調査区	3.0	4.4	7.7	9.5
	対照区	3.3	4.5	7.6	9.8
モアナピンク	調査区	4.2	4.5	7.4	10.1
	対照区	4.0	4.6	7.3	10.1
ジャスニー ホワイト	調査区	3.1	3.8	7.0	8.6
	対照区	3.1	4.2	6.5	8.5

※各品種ともに 10 株の平均値である

※節数は 7/2 以降に発蕾が確認されたため調査を終了した

表 3 薬剤散布状況

散布月	殺菌剤 (成分)	殺虫剤 (成分)	対象病害虫
5月	-	2回 (アセフト、BT)	ヨトウムシ
6月	1回 (メニピリム)	1回 (アセフト)	灰かび、ヨトウムシ
7月	1回 (チオファネートメチル)	1回 (イトトンボ ロックス)	灰かび、ヨトウムシ

## (2) 採花状況

採花状況については表 4 に示した。発蕾、採花期間及び盛期に両区の差がみられなかったが、採花期間において、中生から中晩生種のモアナピンク、ジャスニーホワイトで 10 日から 14 日間であったのに対し、中早生種のおり姫 ver.2、北斗星は 6 日から 8 日間と採花期間が短かった。

表 4 採花状況

品種	区分	発蕾	採花期間	盛期
おり姫 ver.2	調査区	7/2	8/3~8/8 (6日)	8/5
	対照区	7/2	8/3~8/8 (6日)	8/5
北斗星	調査区	7/2	7/29~8/5 (8日)	8/3
	対照区	7/2	7/29~8/5 (8日)	8/3
モアナピンク	調査区	7/2	8/3~8/17 (15日)	8/8
	対照区	7/2	8/3~8/17 (15日)	8/8
ジャスニー ホワイト	調査区	7/16	8/10~8/19 (10日)	8/17
	対照区	7/16	8/10~8/19 (10日)	8/17

※盛期は全体の半分を採花した時とした

開花状況（撮影日：令和3年7月17日）



#### （4）切花品質

切花品質については表5に示した。切花長はおり姫 ver.2、北斗星、モアナピンクで調査区（固化培土）が高く、ジャスニーホワイトで対照区（通常培土）が高い結果となったが、出荷規格から見ると全ての品種及び区で2Lクラスであった。

調製重でもおり姫 ver.2、北斗星、モアナピンク（固化培土）で調査区が重く、ジャスニーホワイトで対照区（通常培土）が重い結果となった。

表 5 切花品質

品種	区分	切花長 (cm)	有効 花蕾数	有効 開花数	茎径 (mm)	調製重 (g)	採花時 節数	比較割合 (調査区/ 対照区)
おり姫 ver.2	調査区	94.0	5.2	13.1	8.3	90.0	10.3	切花長： 101.6%
	対照区	92.5	4.6	12.7	7.5	82.0	9.4	調製重： 109.8%
北斗星	調査区	115.3	2.5	8.1	8.6	101.0	8.1	切花長： 102.1%
	対照区	112.9	3.0	9.0	7.9	100.6	8.5	調製重： 100.4%
モアナ ピンク	調査区	110.7	2.9	4.7	8.3	115.3	9.1	切花長： 106.4%
	対照区	104.0	2.2	5.2	8.9	95.5	8.4	調製重： 120.1%
ジャスニー ホワイト	調査区	85.1	4.1	3.1	6.5	69.0	10.9	切花長： 97.6%
	対照区	87.2	4.9	3.7	7.0	83.2	11.3	調製重： 82.9%

※ 各品種ともに 10 株の平均値である

※ 有効花蕾数とは 20 mm 以上の花蕾数

※ 有効開花数とは開花から日数が経過して品質低下の恐れのある花を除いた花数

※ 調製重とは出荷規格に切りそろえたあと、下葉を 15 cm 程度取り除き、開花及び着蕾を調整した後の重さ

※ 採花時節数とは切り口から止葉節までの節数（止葉節も含む）

※ 規格 2L：80 cm L：70 cm M：60 cm S：50 cm（県経済連花き出荷規格）

### 3 まとめ

生育状況の草丈では対照区（通常培土）のジャスニーホワイト以外は、調査区（固化培土）の生育が同等かそれ以上であった。

また、採花状況では差は見られなかった。

更に、切花品質では生育状況の草丈同様、対照区（通常培土）のジャスニーホワイト以外は、調査区（固化培土）の結果が同等かそれ以上であった。

以上のことからジャスニーホワイト以外は固化培土の方が農業振興センターでブレンドしている通常培土より、各調査項目において良好な結果を示しているものの、出荷規格では全ての品種及び区で 2L であることから、どちらの培土でも問題はないと考え、次年度は今年度の結果と差異がないか再度検証する。